

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [安城市立安城南部小学校] 担当教諭名 [二村 彰久] (6年2組 36名)
 交流相手国 [インド]
 海外学校名 [Bluebells School International] 担当教諭名 [Jaspreet Ahuja / 川乱 麻里(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	つながろう世界の仲間たち	70
	国語	ふるさとの良さをしょうかいしよう	8

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お祭り大好き! We like the festival!
絵に込めたメッセージ	共同学習として、地域や国の自慢、伝統的な祭りについて伝え合った。インドの Holi 祭、安城七夕まつりについて描いた。二つの祭りの共通点は「カラフル」であったため、日本とインドのつながりの象徴として虹を描いた。祭りに参加する人の手をつなぐことで、心のつながりを求める子どもたちの思いを表現している。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム部・スカイプ部・壁画部・国際郵便部の4部の下に9つの課を設け、それぞれの分野で交流の準備、より交流が深まる方法の工夫をすることで、子どもたちの主体的な活動となった。 ・パートナーを決め、交流を進めたことで、より強いつながりを感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの休日等の関係もあり、連絡がうまく取れずに、交流が滞ってしまう時期があった。 ・スカイプ交流の機会が少なかった。 ・構図決定の段階で情報交換が不足し、相手校の意向を十分くみ取ることができなかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式の式場内に壁画を展示した。 ・地域の新聞「安城ホームニュース」に掲載していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年の児童は、絵の大きさ、外国の子とともに描いたことに驚き、興味深そうに鑑賞していた。多くの保護者は、子どもたちがこの取り組みを成し遂げたことを喜んでくださった。卒業式で展示したことで、地域の方、保護者、本校職員や在校生に取り組みを紹介できたとともに、賞賛された。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	1学期 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子どもたちとつながる方法を考え、話し合う。 自己紹介をスカイプで行う。フォーラムに自己紹介を書き込む。 	「心のつながり」を目標に掲げることを話し合いで決めた。本当に交流できるか、最初は半信半疑。翻訳サイトを活用し、英語に訳した。	総合26
情報収集	8月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> 安城七夕まつりについて一人調べを行う。 地域の自慢についてグループで調べて発表し、「安城の自慢ランキング」をつくる。 「安城の自慢カード」の作成・郵送。 じゃんけんスカイプ交流 	地域の良さを伝えようと、個人やグループで主体的に調べ学習を展開した。調べ学習の段階で、いろいろな人の話を聞き、地域の自慢について誇りをもつことができた。日本の文化としてじゃんけんを紹介し、楽しく交流した。	総合30 国語8
テーマ検討	11月	<ul style="list-style-type: none"> 共同壁画制作に向け、壁画部がテーマ案を学級全体に募集。二つに絞り込む。最終決定を相手校に委ねた。下描きをフォーラムで提案。 	「Bluebells の子の思いを大切にしたい」という思いを強くもち、進んで提案、意見を聞こうとした。	総合4
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画部構図課が下絵、ペイント課が配色案検討、色塗り指示。 グループに分かれ、全員で色塗り。 	ペイント課の指示に忠実に、ていねいに色塗りを行った。壁画部の活躍に賛辞の声が上がった。学級内のつながりの深まりを感じていた。	総合7
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> 作品とともに記念撮影。 ビデオレターで喜びのメッセージ。 卒業式の式場への展示。 	裏を見て、パートナーのサインを真剣に探していた。式場への掲示で、多くの人に見てもらえることを喜んだ。	総合3

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	「安城の自慢」について積極的に調べ、発表する姿から、地域を誇りに思う気持ちを深められたと感じた。
異文化の理解	B	4	行事や祭り、食文化について興味をもつことができた。インドにじゃんけんがないことを知り、じゃんけんスカイプを実施した。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	パートナーとのつながりを深めるために、英語での表現に興味をもち、交流を深めた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	地域の自慢についてインタビューやアンケート等、これ前あまり取り組んでこなかった、対人での情報収集能力を高められた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	「心のつながり」を深めるための手だてを、学級全員で話し合いながら活動方針を決め、意見を尊重し合いながら交流を行った。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	4部9課に役割を分担し、効率的かつ主体的に交流の準備や交流方法の研究に取り組んだ。
学習を追究する意欲	A	5	「インドの子たちに伝えたい」という意識をもっているため、より深く知ろうとする気持ちを強くもつことができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	二つの祭りの共通点を虹で表現したり、握手でつながりを表現したりするなどの工夫について、話し合いながら構図を決めた。
作品を鑑賞する力	B	3	自分たちの思いをくみ取り、インドの子たちが描いてくれたことを実感し、一つの作品が出来上がったことに感動を覚えた。